

新	旧
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>
<p>5 構造改革特別区域計画の意義</p>	<p>5 構造改革特別区域計画の意義</p>
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>
<p>基本情報技術者試験の午前試験を免除する講座の開設により、今後、情報処理技術の向上や資格取得を目指す学生や求職者などが、市外から流入することが予想され、市内の専門学校においては、学生などの若年層の優秀で高度な情報技術を持った人材を育成・輩出することができ、パソコン教室においては、社会人などのキャリアアップ・スキルアップを図ることができる。</p>	<p><u>初級システムアドミニストレータ試験及び基本情報技術者試験の午前試験を免除する講座の開設により、今後、情報処理技術の向上や資格取得を目指す学生や求職者などが、市外から流入することが予想され、市内の専門学校においては、学生などの若年層の優秀で高度な情報技術を持った人材を育成・輩出することができ、パソコン教室においては、社会人などのキャリアアップ・スキルアップを図ることができる。</u></p>
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>
<p>6 構造改革特別区域計画の目標</p>	<p>6 構造改革特別区域計画の目標</p>
<p>当該特例措置は、当該講座の修了を認められた者が、これを認められた日から1年以内に受験する場合は、情報処理技術者試験規則別表に掲げる当該試験に係る試験の科目のうち、第1号に規定する情報処理システムに関する基礎知識及び第2号に規定する情報処理システムの開発に関する共通的基础知識を免除するものである。</p>	<p>当該特例措置は、当該講座の修了を認められた者が、これを認められた日から1年以内に受験する場合は、情報処理技術者試験規則別表に掲げる当該試験に係る試験の科目のうち、<u>初級システムアドミニストレータ試験については、第1号に規定する情報処理システムに関する基礎知識及び第2号に規定する情報処理システムの活用に関する共通の知識を、基本情報技術者試験については、第1号に規定する情報処理システムに関する基礎知識及び第2号に規定する情報処理システムの開発に関する共通的基础知識を免除するものである。</u></p>
<p>今回の特区認定申請は、本市の産業の活性化を推進していく上でけん引役となるべき人材の育成と強化を目指すものであるため、資格試験の合格率の向上と人材育成を短期的な目標とし、本市の産業の活性化を長期的な目標として掲げる。</p>	<p>今回の特区認定申請は、本市の産業の活性化を推進していく上でけん引役となるべき人材の育成と強化を目指すものであるため、資格試験の合格率の向上と人材育成を短期的な目標とし、本市の産業の活性化を長期的な目標として掲げる。</p>
<p>(1) 資格試験合格率の向上と人材育成</p>	<p>(1) 資格試験合格率の向上と人材育成</p>
<p>特例措置として午前中の試験の免除を行い、情報技術に関する国家資格の取得を推進することは、将来の産業を担う人材を育成するための有効な手段の一つである。</p>	<p>特例措置として午前中の試験の免除を行い、情報技術に関する国家資格の取得を推進することは、将来の産業を担う人材を育成するための有効な手段の一つである。</p>
<p>この特例によって午後の実務的試験分野に集中できるなど、受験者の負担が大きく軽減され、合格率の向上が見込まれることから、基本情報技術者試験においては、当該講座受講者の合格率について、5年後を目途として、全国平均（平成17年度秋で12.8%）を超えることを数値目標とする。</p>	<p>この特例によって午後の実務的試験分野に集中できるなど、受験者の負担が大きく軽減され、合格率の向上が見込まれることから、<u>初級システムアドミニストレータ試験及び基本情報技術者試験においては、当該講座受講者の合格率について、5年後を目途として、全国平均（平成17年度秋でそれぞれ27.4%、12.8%）を超えることを数値目標とする。</u></p>
<p>茨城県平均の合格率（平成17年度秋で10.1%）は、全国平均の合格率と比較すると下回っており、基準とする数値目標としては、適当であると考えている。</p>	<p>茨城県平均の合格率（平成17年度秋で<u>初級システムアドミニストレータ試験21.9%、基本情報処理技術者試験10.1%</u>）は、全国平均の合格率と比較すると<u>それぞれ下回って</u>おり、基準とする数値目標としては、適当であると考えている。</p>
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>

新	旧
<p>8 特定事業の名称</p> <p>1 1 3 2 (1 1 4 4、<u>1 1 4 6</u>) 修了者に対する基本情報技術者試験の午前試験を免除する講座開設事業</p> <p>(略)</p> <p><u>(削除)</u></p>	<p>8 特定事業の名称</p> <p><u>1 1 3 1 (1 1 4 3)</u> 修了者に対する初級システムアドミニストレータ試験の午前試験を免除する講座開設事業</p> <p>1 1 3 2 (1 1 4 4) 修了者に対する基本情報技術者試験の午前試験を免除する講座開設事業</p> <p>(略)</p> <p><u>別紙1</u></p> <p><u>(略)</u></p>

新	旧
<p>別紙</p> <p>1 特定事業の名称 1 1 3 2 (1 1 4 4、<u>1 1 4 6</u>) 修了者に対する基本情報技術者試験の午前試験を免除する講座開設事業</p> <p>2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者 (1) 学校法人 八文字学園 水戸電子専門学校 所在地：茨城県水戸市浜田2丁目11-20 (2) 有限会社 ビジネスサポート ハロー！パソコン教室 水戸見和校 所在地：茨城県水戸市見和2丁目471-14 (3) 日本CIW普及育成協議会（JACC）[修了認定に係る試験の提供者] 所在地：東京都千代田区鍛冶町1-5-7江原ビル5F <u>(4) 株式会社サーティファイ [修了認定に係る試験の提供者]</u> 所在地：東京都中央区京橋3-3-14 京橋AKビル (略)</p> <p>4 特定事業の内容 (1) 経済産業大臣が告示で定める履修項目に応じた履修計画 ① <u>CIW併用コース</u> 当該講座の運営に当たって、履修内容の詳細について経済産業大臣または独立行政法人情報処理推進機構（IPA）に相談を行い、助言があった場合には対応することとする。 ・<u>ハロー！パソコン教室 水戸見和校</u> <u>「基本情報技術者試験対策講座」（CIW併用コース）</u> 別添資料1のとおり ② <u>サーティファイ・情報処理技術者能力認定試験併用コース</u> 当該講座の運営に当たって、履修内容の詳細について経済産業大臣または独立行政法人情報処理推進機構（IPA）に相談を行い、助言があった場合には対応することとする。 ・<u>水戸電子専門学校</u> <u>「基本情報技術者試験講座」（サーティファイ・情報処理技術者能力認定試験併用コース）</u> 別添資料2のとおり</p>	<p>別紙2</p> <p>1 特定事業の名称 1 1 3 2 (1 1 4 4) 修了者に対する基本情報技術者試験の午前試験を免除する講座開設事業</p> <p>2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者 (1) 学校法人 八文字学園 水戸電子専門学校 所在地：茨城県水戸市浜田2丁目11-20 (2) 有限会社 ビジネスサポート ハロー！パソコン教室 水戸見和校 所在地：茨城県水戸市見和2丁目471-14 (3) 日本CIW普及育成協議会（JACC）[修了認定に係る試験の提供者] 所在地：東京都千代田区鍛冶町1-5-7江原ビル5F (略)</p> <p>4 特定事業の内容 (1) 経済産業大臣が告示で定める履修項目に応じた履修計画 当該講座の運営に当たって、履修内容の詳細について経済産業大臣または独立行政法人情報処理推進機構（IPA）に相談を行い、助言があった場合には対応することとする。 ア <u>水戸電子専門学校</u> <u>「基本情報技術者試験講座」（CIW併用コース）</u> 別添資料3のとおり イ <u>ハロー！パソコン教室 水戸見和校</u> <u>「基本情報技術者試験対策講座」（CIW併用コース）</u> 別添資料4のとおり</p>

新	旧
<p>(2) 修了認定の基準</p> <p>① CIW 併用コース</p> <p>(略)</p> <p>次号①アただし書きの規定により、IPAが提供する問題を使用して修了認定に係る試験を実施した場合は、IPAの定める合格基準を満たした者について修了を認定するものとする。</p> <p>② サーティファイ・情報処理技術者能力認定試験併用コース</p> <p><u>民間資格を取得するための試験「情報処理技術者能力認定試験2級」もしくは「情報処理技術者能力認定試験2級第1部科目」を受験し、これに合格したもので、かつ履修計画にある講座に7割以上出席したものに對し、修了認定に係る試験の受験資格を与えるものとする。</u></p> <p><u>有資格者に対して修了認定に係る試験を実施し、株式会社サーティファイの定める合格基準を満たした者について、修了を認定するものとする。</u></p> <p><u>次号②アただし書きの規定により、IPAが提供する問題を使用して修了認定に係る試験を実施した場合は、IPAの定める合格基準を満たした者について修了を認定するものとする。</u></p> <p>(3) 修了認定に係る試験の実施方法</p> <p>① CIW 併用コース</p> <p>ア (略)</p> <p>ただし、当該問題が、IPAの審査によって認定されなかった場合は、IPAが提供する問題を使用して修了認定に係る試験を実施する。 (略)</p> <p>② サーティファイ・情報処理技術者能力認定試験併用コース</p> <p>ア <u>修了認定に係る試験は、株式会社サーティファイが作成し、IPAの審査によって認定された問題を使用し、実施するものとする。</u></p> <p><u>ただし、当該問題が、IPAの審査によって認定されなかった場合は、IPAが提供する問題を使用して修了認定に係る試験を実施する。</u></p> <p>イ <u>修了認定に係る試験の会場は、当該規制の特例措置の適用を受けようとする者が特別区域内に指定した施設とする。</u></p> <p>ウ <u>修了認定に係る試験の採点事務は、当該規制の特例措置の適用を受けようとする者のうち、株式会社サーティファイが行うものとする。</u></p> <p><u>ただし、株式会社サーティファイが認めた場合においては、この事務を指定した者に代行させることができる。</u></p> <p>エ <u>講座の修了を認めた者の氏名、生年月日及び試験結果については、当該民間資格の取得を証する写しとあわせて、IPAに通知する。</u></p>	<p>(2) 修了認定の基準</p> <p>(略)</p> <p>次号アただし書きの規定により、IPAが提供する問題を使用して修了認定に係る試験を実施した場合は、IPAの定める合格基準を満たした者について修了を認定するものとする。</p> <p>(3) 修了認定に係る試験の実施方法</p> <p>ア (略)</p> <p>ただし、当該問題が、IPAの審査によって認定されなかった場合は、IPAが提供する問題を使用して修了認定に係る試験を実施する。 (略)</p>

新	旧																																																												
<p>(4) 修了認定の基準に経済産業大臣が告示で定める民間資格の取得を含む場合における当該民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目</p> <p>① CIW 併用コース</p> <p>資格名称：「CIWアソシエイト」 試験科目：「CIWファンデーション」 試験項目：下表に示すとおり</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>② サーフティファイ・情報処理技術者能力認定試験併用コース</p> <p>資格名称：情報処理技術者能力認定試験（2級） 試験科目：情報処理技術者能力認定試験（2級第1部） 試験項目：下表に示すとおり</p>	<p>(4) 修了認定の基準に経済産業大臣が告示で定める民間資格の取得を含む場合における当該民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目</p> <p>資格名称：「CIWアソシエイト」 試験科目：「CIWファンデーション」 試験項目：下表に示すとおり</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>																																																												
出題内容																																																													
テクノロジー系	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>基礎理論</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>基礎理論</td> </tr> <tr> <td></td> <td>基数変換，データ表現，演算と精度，論理演算など</td> </tr> <tr> <td></td> <td>確率と統計，数値解析，数式処理，グラフ理論など</td> </tr> <tr> <td></td> <td>符号理論，述語論理，オートマトン，計算量など</td> </tr> <tr> <td></td> <td>伝送理論（伝送路，変調方式，誤り検出・訂正など）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>アルゴリズムとプログラミング</td> </tr> <tr> <td></td> <td>データ構造（スタックとキュー，2分木，リストなど）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>流れ図の理解，アルゴリズム（整列，探索，併合など）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プログラム構造，データ型など</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プログラム言語（種類と特徴など）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>コンピュータシステム</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>コンピュータ構成要素</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンピュータの構成，動作原理，プロセッサなど</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主記憶，キャッシュメモリ，半導体メモリなど</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助記憶装置や媒体（種類と特徴，性能計算など）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>入出力インタフェース（種類と特徴など）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>入出力装置（種類と特徴，性能計算など）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>システム構成要素</td> </tr> <tr> <td></td> <td>システムの利用形態，システム構成など</td> </tr> <tr> <td></td> <td>クライアントサーバシステム，RAIDなど</td> </tr> <tr> <td></td> <td>システムの性能，信頼性，経済性など</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td>ソフトウェア</td> </tr> <tr> <td></td> <td>オペレーティングシステム（タスク管理，記憶管理など）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ミドルウェア（API，ライブラリ，シェルなど）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ファイルシステム（ディレクトリ，ファイル編成など）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>言語処理ツール（コンパイラ，リンカ，ローダなど）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>CASE，エミュレータ，シミュレータなど</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td>ハードウェア</td> </tr> <tr> <td></td> <td>基本論理回路，組合せ回路など</td> </tr> </table>	1	基礎理論	1	基礎理論		基数変換，データ表現，演算と精度，論理演算など		確率と統計，数値解析，数式処理，グラフ理論など		符号理論，述語論理，オートマトン，計算量など		伝送理論（伝送路，変調方式，誤り検出・訂正など）	2	アルゴリズムとプログラミング		データ構造（スタックとキュー，2分木，リストなど）		流れ図の理解，アルゴリズム（整列，探索，併合など）		プログラム構造，データ型など		プログラム言語（種類と特徴など）	2	コンピュータシステム	3	コンピュータ構成要素		コンピュータの構成，動作原理，プロセッサなど		主記憶，キャッシュメモリ，半導体メモリなど		補助記憶装置や媒体（種類と特徴，性能計算など）		入出力インタフェース（種類と特徴など）		入出力装置（種類と特徴，性能計算など）	4	システム構成要素		システムの利用形態，システム構成など		クライアントサーバシステム，RAIDなど		システムの性能，信頼性，経済性など	5	ソフトウェア		オペレーティングシステム（タスク管理，記憶管理など）		ミドルウェア（API，ライブラリ，シェルなど）		ファイルシステム（ディレクトリ，ファイル編成など）		言語処理ツール（コンパイラ，リンカ，ローダなど）		CASE，エミュレータ，シミュレータなど	6	ハードウェア		基本論理回路，組合せ回路など
1	基礎理論																																																												
1	基礎理論																																																												
	基数変換，データ表現，演算と精度，論理演算など																																																												
	確率と統計，数値解析，数式処理，グラフ理論など																																																												
	符号理論，述語論理，オートマトン，計算量など																																																												
	伝送理論（伝送路，変調方式，誤り検出・訂正など）																																																												
2	アルゴリズムとプログラミング																																																												
	データ構造（スタックとキュー，2分木，リストなど）																																																												
	流れ図の理解，アルゴリズム（整列，探索，併合など）																																																												
	プログラム構造，データ型など																																																												
	プログラム言語（種類と特徴など）																																																												
2	コンピュータシステム																																																												
3	コンピュータ構成要素																																																												
	コンピュータの構成，動作原理，プロセッサなど																																																												
	主記憶，キャッシュメモリ，半導体メモリなど																																																												
	補助記憶装置や媒体（種類と特徴，性能計算など）																																																												
	入出力インタフェース（種類と特徴など）																																																												
	入出力装置（種類と特徴，性能計算など）																																																												
4	システム構成要素																																																												
	システムの利用形態，システム構成など																																																												
	クライアントサーバシステム，RAIDなど																																																												
	システムの性能，信頼性，経済性など																																																												
5	ソフトウェア																																																												
	オペレーティングシステム（タスク管理，記憶管理など）																																																												
	ミドルウェア（API，ライブラリ，シェルなど）																																																												
	ファイルシステム（ディレクトリ，ファイル編成など）																																																												
	言語処理ツール（コンパイラ，リンカ，ローダなど）																																																												
	CASE，エミュレータ，シミュレータなど																																																												
6	ハードウェア																																																												
	基本論理回路，組合せ回路など																																																												

新		旧
テクノロジ系	3 技術要素	
	7 ヒューマンインタフェース	
	GUI, 帳票設計, 画面設計, コード設計など	
	8 マルチメディア	
	オーサリングツール, JPEG, MPEG など	
	9 データベース	
	データベースのモデル, DBMS など	
	データ分析, データベースの設計, データの正規化など	
	データ操作, SQL など	
	排他制御, 障害回復, トランザクション管理など	
	データウェアハウス, データマイニングなど	
	10 ネットワーク	
	インターネット (各種プロトコル, IP アドレスなど)	
	LAN と WAN (トポロジ, 回線, DSU, モデムなど)	
	LAN のアクセス制御方式, LAN 間接続装置など	
	OSI 基本参照モデル, HDLC, ネットワーク性能など	
	ADSL, FTTH, CATV 回線, イントラネットなど	
11 セキュリティ		
暗号技術, 認証技術, 利用者確認など		
ウイルスの種類と特徴, ウイルス対策など		
不正アクセス, 不正侵入, 不正行為の種類と対策など		
マネジメント系	4 開発技術	
	12 システム開発技術	
	業務分析と要件定義 (DFD, E-R 図, UML など)	
	モジュール分割と独立性, オブジェクト指向など	
	構造化プログラミング, コーディングなど	
	テスト手法, レビュー手法, デバッグツールなど	
	13 ソフトウェア開発管理技術	
	ソフトウェア開発手法 (スパイラルモデルなど)	
	SLCP, リバースエンジニアリングなど	
	5 プロジェクトマネジメント	
14 プロジェクトマネジメント		
コスト見積り (ファンクションポイント法など)		
日程計画 (アローダイアグラムなど)		
進捗管理, 品質管理, コスト管理など		
6 サービスマネジメント		
15 サービスマネジメント		
ICTIL (サービスサポート, サービスデリバリなど)		
コンピュータの運用・管理, システム移行など		

新		旧	
ストラテジ系	7 システム戦略		
	17 システム戦略 業務プロセス（業務改善, BPR, SFA など）		
	8 経営戦略		
	19 経営戦略マネジメント 経営戦略手法（コアコンピタンス, PPM など） マーケティング理論, マーケティング手法など 経営管理システム（CRM, SCM, ERP など）		
	21 ビジネスインダストリ ビジネスシステム（POS システム, EOS など） エンジニアリングシステム（CAD, CAM, MRP など） e-ビジネス（EC, EDI, RFID など）		
	9 企業と法務		
	22 企業活動 経営組織（事業部制組織, CIO など） ヒューマンリソース（OJT, CDP, MBO など） 経営管理と問題発見技法（PDCA, KJ 法など） OR・IE（線形計画法, 品質管理, 在庫問題など） 会計・財務（財務会計, 管理会計, リースなど）		
	23 法務 知的財産権（著作権, 産業財産権など） ガイドライン（ソフトウェア管理ガイドラインなど） 標準化団体（JIS, ISO, IEEE など） 各種コード（文字コード, QR コード, ISBN コードなど） 補助単位（T, G, M, K, ミリ, マイクロ, ナノ, ピコ）		
	当該民間資格を取得するための試験の使用言語：日本語		
	当該民間資格を取得するための試験の提供開始日：昭和58年4月		